

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	3-3			
PDCA	主要事業名	ふるさと納税事務	部課名	企画部企画課	担当 内線	祢宜田 226			
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 2 単位施策： 財政運営 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 47,124 千円 会計 一般会計 歳出科目： 02.01.01.02.02					目標項目（予算計上時に作成）			
	事業概要等	事業概要： 「生まれ育ったふるさと」や「ゆかりのあるまち」を応援したいという方が、都道府県や市町村に寄附した場合、寄附金額に応じて、一定額が個人住民税・所得税から控除される制度で、控除された部分は、寄附先の自治体への納税と同様の効果がある。また、寄附時に使い道を指定することが可能で、寄附者の意向をまちづくりに反映している。 事業目的： 自主財源を確保するとともに、地場産品である返礼品を市外寄附者に贈呈することで、半田市をPRし、地域産業の振興を図る。 事業内容： 市ホームページ、チラシなどによりふるさと納税制度を周知し、市外在住の寄附者には、金額に応じて返礼品を贈呈する。 問題点・課題等： ふるさと納税を増やすため、魅力的な地場産品を掘り起こし、返礼品を増やす必要がある。主な対象者が市外在住者であるため、PRに工夫が必要。					予算見積書で活用		
	予算額	主要事業とする理由							
	47,124 千円	市政に必要な自主財源を確保しながら、半田市や地場産品のPRや市内事業者の売上を増加させるため。							
	財源内訳	得られる成果							
	市費 44,870 千円	自主財源を確保するとともに、半田市及び地場産品を広くPRすることができる。							
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態							
	県費 0 千円		令和2年度	令和3年度	令和4年度			単位	
	その他 2,254 千円	ふるさと納税寄附額	実績値	36,156,119	49,689,710			—	円
			目標値	20,263,000	33,011,000			100,000,000	円
		実績値							
		目標値							
	実績値								
	目標値								
D 実績値	決算額	得られた成果							
	42,416 千円	目標値には届かなかったものの、半田市の地場産品をPRする効果が得られた。							
		成果指標							
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 目標値には届かなかったものの、ふるさと納税市場の約9割の寄附を集める4つの受付サイトの登録が完了したことにより、昨年の実績値を大幅に上回る結果となった。また、返礼品画像の改善やSNSにおいてPRを行うことで、ふるさと納税を通じた半田市の魅力発信を行った。年末にかけて、売れ筋商品の申込件数が想定を超え、一時受付を停止したことが目標値に届かなかった大きな要因である。今後、事業者との連携を図り、十分な供給量の確保や新規返礼品の発掘に取り組む必要がある。							
		A 改善推進							
		今後の事業の方向性 既存事業者へのヒアリングを行い、取組状況や新規返礼品に関するアイデアを共有していくとともに、未登録の事業者へも新規登録に向けたアプローチを行っていく。また、広報やシティブロモーション事業と連携した取り組みを進めることにより、寄附額の増額を図るとともに、半田市のさらなる魅力発信につなげていく。							
A 課題解決の方向性	観点別評価	必要性	有効性		効率性				
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	ない			
		②市民ニーズ -	⑤成果向上の余地	ある	余地				
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない			
		主要施策の成果報告書で活用				評価項目（決算時に作成）			